

赤い手袋

小川未明

青空文庫

政雄は、姉さんからこさえてもらいました、赤い毛糸の手袋を、学校から帰りに、どこでか落としてしまったのです。

その日は、寒い日で、雪が積もっていました。そして、終日、空は曇って日の光すらささない日でありましたが、みんなは元気で、学校から帰りに、雪投げをしたり、また、あるものは相撲などを取ったりしたので、政雄も、いっしょに雪を投げて遊びました。そのとき、手袋をとって、外套の隠しの中に入れたような気がしましたが、きつとよく入れきらなかったので、途中で落としてしまったものとみえます。

政雄は、家に帰ってから、はじめてそのことに気づきました。いよいよなくしてしましますと、なつかしい赤い手袋が目についてなりませんでした。それも、そのはずであつて、毎日学校の往來に、手にはめてきたばかりでなく、町へ買い物にやらされたときも、この赤い手袋をはめてゆき、お湯にいったときも、この赤い手袋をはめてゆき、また、夜、かるたを取りに近所へ呼ばれていったときも、この赤い手袋をはめていたからであります。

それほど、自分に親しいものでありましたから、政雄は、惜しくてなりません。それよ

りも、もつと、こんなに寒いのに、雪の上に落ちていることが、手袋にとつてかわいそうでなりませんでした。

「どんなにか手袋は、家に帰りたいと思つてゐるだろう。」と考えると、政雄は、どうかして探してきてやりたい気持ちでしたのであります。

けれど、そのとき、やさしい姉さまは、政雄をなぐさめて、

「わたしが、またいい代わりをこしらえてあげるから、この風の寒いのに、わざわざ探しにいかなくてもいいことよ。」とおっしゃったので、ついに政雄は、その赤い手袋のこをあきらめてしまいました。

ちようど、その日の暮れ方でありました。空は曇つて、寒い風が吹いていました。あまり人通りもない、雪道の上に、二つの赤い手袋がいつしよに落ちていました。

いままで、暖かい外套のポケットに入つていた手袋は、冷たい雪の上にさらされてびつくりしてゐたのです。

このとき、町の方から、七つ、八つの男の子が、手足の指を真っ赤にして、汚らしい着物をきて、小さなわらじをはいて、とぼとぼやってきました。

この子は、遠い村に住んでいる乞食の子であつたのです。昼は町に出て、お錢や、食べ

物ものをもらつて歩いて、もはや、日ひが暮くれますので、自分じぶんの家いえへ歸かえつてゆくのでした。子供こどもはとぼとぼときかかりますと、雪ゆきの上うえに、真まつ赤かな手て袋ぶくろが落おちているのが目めにつきました。

子供こどもは、すぐには、それを拾ひろおうとせずに、じつと見ていましたが、そのうち、小ちきな手てを出だして、それを拾ひろい上げて、さも珍めずしそうに見みとれていました。子供こどもは、前まえには、こんな美しいものを手てにとつて見たことがなかったのです。町まちへ出でまして、いろいろつばなものを並ならべた店みせ頭さきを通とおりまして、それは、ただ見るばかりで、名なすら知しらなかったものであります。

子供こどもは、なんと思おもいましたか、その赤あかい手て袋ぶくろを自分じぶんのほおにすりつけました。また、いくたびとなく、それに接せつ吻ぶんしました。けれど、それをけつして、自分じぶんの手てにはめてみようとはいはしませんでした。

子供こどもは、たいせつなものでも握にぎつたように、それを抱だくようにして、さびしい、雪道ゆきみちの上うえを、自分じぶんの家いえのある村むらの方ほうを指さして、とぼとぼ歩いてゆきました。

日暮ひぐれ方がたを告つげる、からすの声こえが、遠とおくの森もりの方ほうで聞きこえていました。

子供こどもは、やがて大おおきな木きの下したにあつた、みすばらしい小こ屋やの前まえにきました。そこが子供こども

の家であつたのです。

小屋の中には、青い顔をして、母親が黙つてすわっていました。そのそばに、薄いふとんをかけて、十ばかりになる子供の姉が病気でねていました。その姉の女の子の顔は、やせて、もつと蒼かつたのであります。

「姉ちゃん、いいものを持つてきてあげたよ。」と、子供はいつて、赤い手袋を姉のまくらもとに置きました。けれど、姉は返事をしませんでした。細い手をしっかりと胸の上に組んで、このときもう姉さんは死んでいたのです。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 二 講談社

1976（昭和51）年11月10日第1刷

1977（昭和52）年C第3刷

初出：「小学男生」

1921（大正10）年3月

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：雪森

2013年4月10日作成

2013年12月3日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

赤い手袋

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>